

第2号議案 第26期（2024年度）決算並びに監査報告

別紙 1－1、1－2、1－3、1－4、1－5

第3号議案 第27期（2025年度）事業計画（報告）

災害支援関連では、令和6年能登半島地震の被災地である石川県能登半島に、引き続き継続した支援活動を行いたい。特に今年度は、七尾市や輪島市などを中心に集会所などで交流活動や子どもたちの支援活動（出前プレーパーク）を予定している。また、コロナ禍で訪問を控えていた熊本地震や西日本豪雨災害などの被災地にも訪問したいと思っている。また、南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合に備え、体制についても並行して検討を重ねたいと思う。

平常時の活動については、これまで同様①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱を掲げている。ただし、阪神・淡路大震災から30年が経過したこのタイミングで、31年目に向けてより充実した一步を踏み出すために、少し時間をいただき、これまでの事業内容のふりかえりを行うのと同時に、新たな事務局体制の構築と、市民の防災・減災の啓発のためにより一層意義のある取り組みを考案していきたいと考えている。

引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

（1）東日本大震災の支援活動

（岩手県野田村、福島県郡山市、など）

（2）兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

（3）熊本地震・九州北部豪雨災害の支援活動

（4）西日本豪雨災害、台風19号豪雨災害の支援活動

（5）能登半島地震・奥能登豪雨災害の支援活動

（6）トルコ・シリア地震の支援活動

（7）ココロープの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動

（1）子ども支援事業（子ども防災クラブ、親子防災講座など）

（2）防災啓発事業

2. 防災意識高揚のための取り組み

（1）災害や防災に関する講座・研修等の受託事業

（2）講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

- (1) 全国災害救援ネットワーク（J ネット）総会
- (2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）
- (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）

4. 新規・継続事業・・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

- (1) NVNAD 連続ゼミの企画
- (2) まちごと防災セミナーの企画

Ⅲ. 災害救援準備金の取り扱い（2025. 3. 31 現在）

緊急時の活動費用については、災害救援引当貯金から捻出する。

災害救援引当貯金の残高合計：932,779 円

（内訳：近畿労働金庫は 476,469 円、NVNAD は 456,319 円）

第4号議案 第27期（2025年度）予算（報告）

別紙2-1、2-2